

「まち」について、「科学」について、市民と学生と専門家と一緒に考えて、議論し、学び合う “**熱い3日間**”

はこだて科学寺子屋 <集中講座>

2単位!!

キャンパス・コンソーシアム函館 <単位互換制度対象科目> 「科学技術コミュニケーション入門」

10:00 - 17:00

2012 **8/4** (土)

公立はこだて未来大学 4階
494 講義室

5 (日)

浄土宗 瀧澤山
湯川寺 (とうせんじ)

6 (月)

函館市湯川町3-35-10

受講料無料 / 要申し込み (定員30人程度、先着順)

URL <http://www.sciencefestival.jp/>

いろんな世代の人や
他の大学の学生と
一緒になって学びたい!

函館を
もっと元気にしたい!

科学技術コミュニケーション
について知りたい!

「はこだて国際科学祭」
に参加してみたい!



講師

田柳 恵美子 (公立はこだて未来大学特任教授)

渡辺 保史 (東海大学国際化学部デザイン文化学科 客員教授)

ゲスト講師

田中 浩也

(慶應義塾大学環境情報学部准教授、ファブラボジャパン発起人)



CCH キャンパス・コンソーシアム函館

<集中講座>のテーマは、

「まち歩き × カガク = サイエンス・クイズラリー」

昨年、一昨年に引き続き、本格的なまち歩きのフィールドワークに挑戦します。まち歩きでの発見から、科学にちなんだクイズラリーを作成します。まとめ上げた成果は、8月下旬に開催される「はこだて国際科学祭2012」で実際に行われるサイエン・クイズラリーに活かされます。

プログラム

はこだて科学寺子屋〈集中講座〉は、土/日/月の3日間をかけて実施します。社会人・一般市民の方で平日参加が難しい方には、土/日の2日間参加も可能です。(詳しくはサイエンス・サポート函館事務局までお問い合わせください)

8/4 (土)

1日目 講義とディスカッション

科学と市民をつなぐコミュニケーションのあり方、科学と地域のあり方、科学とメディアのあり方などについて、専門家がさまざまなレクチャーを行うとともに、参加者みんなで議論します。

5 (日)

2日目 発見のためのまち歩き

湯の川エリアをデジカメ片手に“ぶらぶら”と歩きながら、ふだんはなにげなく見過ごしていることを発見していきます。これはフィールドワークという、れっきとした社会調査研究の手法です。

6 (月)

3日目 企画をまとめるワークショップ

フィールドワークで発見したことを持ち寄り、グループに分かれてディスカッションを行い、サイエンス・クイズラリーの案を創り上げます。最後にみんなで発表と意見交換を行い、3日間の成果をまとめます。

18 (土)

「はこだて国際科学祭2012」への参加

受講者の皆さん(有志の方)には、8月18～26日に開催される「はこだて国際科学祭2012」のスタッフとして、サイエンス・クイズラリーなどの運営に実際に参加していただけます。まち歩き→発見→アイデア→企画→さらにその実行まで、トータルにかかわってみませんか。

26 (日)



学生の方々へ

キャンパス・コンソーシアム函館 単位互換制度対象科目 主管校：公立はこだて未来大学

はこだて科学寺子屋〈集中講座〉は、社会人・一般市民向けの公開講座であると同時に、キャンパス・コンソーシアム函館 単位互換制度対象科目「科学技術コミュニケーション入門」(2単位)として開講されます。単位認定には必要な条件を満たしていただく必要があります。単位互換制度を利用した場合の申し込み締切は所属校によって異なります。(詳しくは各大学・高専事務局までお問い合わせください)

一般の方の問合せ・申し込み先

サイエンス・サポート函館事務局 (担当: 金森)
〒041-8655 函館市亀田中野町116-2 公立はこだて未来大学内

Mail info@sceiencefestival.jp

Tel 0138-34-6527

URL <http://www.sciencefestival.jp/>